

宮下地区

地域コミュニティ計画



満開の桜づつみ

宮下地区まちづくり協議会

はじめに

鳥取市では平成 20 年度「協働のまちづくり元年」と位置づけ、市民と行政がともに協力しながら、市民一人ひとりがこころ豊かで住みよい地域社会を築くための「まちづくり協議会」をスタートしました。私たち宮下地区におきましても、自治会と公民館運営協議会が強く連携しながら 20 年 12 月 18 日本協議会を設立し、今日に至っているところでございます。活動の中心はこれまで活発に取り組まれている公民館活動を基本に据え、まちづくりの活動拠点として取り組んでまいりました。設立されてから 1 年余を迎えるに当たり、地域の方々が現状をどのように考え、今後どのような地域にしたいか等について昨年 9 月アンケート調査を実施いたしました。ご多忙の中ご協力いただきありがとうございます。今回、その集計がまとまりましたので、概要をご報告させていただきます。その中で、8 割を超える方々が宮下地区に対して愛着を感じ、今後も住み続けたいとの結果をいただきました。これは本まちづくり計画を実施していくための何よりの大きな力をいただいたものと考えています。

私たちのまちづくりの基本は何と申しましても、地域で暮らす住民一人ひとりが元気で明るく安全で安心して暮らしていけることです。恵まれたこの美しい自然環境の中で、代々受け継がれてきた多くの文化史跡や地域財産を大切に守りながら、いつまでもここに住んでいてよかったといえる地域社会を互いに協力し合い創造していくことが大切です。そのためのスローガンを「みんなで参加！みんなで楽しく！」として掲げ、事業内容としては昨年度同様

- 1 地域の特色・魅力を活かしたまちづくり
- 2 安心・安全で美しいまちづくり
- 3 豊かな心を育む健康づくり

の 3 つを基本理念に据え、取り組んでいきたいと思っております。今回、皆様方より寄せられた多くの貴重なご意見の一つ一つを十分に吟味しつつ、これからの活動に反映すべく努力して行く所存でございます。今後とも本コミュニティ計画を遂行するためにも、皆様方の絶大なるご支援・ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

3 月 吉日

宮下地区まちづくり協議会

会長 田中道春

目次

(1)	地域の現状や課題	1
(2)	宮下地区まちづくりアンケート結果	1
	地区の現状について	2
	公民館だより・まちづくり協議会報や住民参加について	3
	宮下地区まちづくりの方向性について	4
	宮下地区まちづくりアンケートの解析	5
(3)	まちづくりの目標	6
	スローガン「みんなで参加！みんなで楽しく！」	6
	具体的目標	
	① 地域の特色・魅力を活かしたまちづくり	6
	② 安心・安全で美しいまちづくり	6
	③ 豊かな心を育む健康づくり	6
(4)	目標を実現するための主なコミュニティ事業	7
	○地域の特色・魅力を活かしたまちづくり	7
	○安心・安全で美しいまちづくり	8
	○豊かな心を育む健康づくり	9
(5)	期待できる効果	10
(6)	地域コミュニティ計画の評価・改善	10
(別表)	宮下地区まちづくり協議会組織図	11

(1) 地域の現状や課題

宮下地区は鳥取市の東側に位置し、袋川の清流に恵まれ自然の豊かな田園地帯であり、因幡万葉歴史館、因幡国庁跡、池田家墓所、宇倍神社、美歎水源地跡などの文化史跡を有する。

伝統芸能も宇倍神社の麒麟獅子舞、美歎の因幡傘踊り・手踊り、宮下地区手笠踊りなど鳥取を代表する郷土芸能がある。

春は袋川土手の親水性公園「水辺の楽校」の桜が満開となり、近年は花見のスポットとなっている。このように宮下地区は万葉ロマンと文化の風が香る、のどかで美しく風光明媚な地区である。

一方、市街地に近いことから近年、アパートが急増しており、市民のベッタウンと化している。地区には17の自治会があり、2009年5月調査で世帯数1,278戸、人口3,687名であるが、アパート住民の自治会加入が少ないため、地区全体での自治会加入率は55%と悪く新市域としては極めて低率である。

宮下地区まちづくり協議会では、地区を更に「心豊かな安全で住みよいまち」にするために、住民からの「まちづくりアンケート」の回答を基に21年度に「宮下地区地域コミュニティ計画」を策定した。

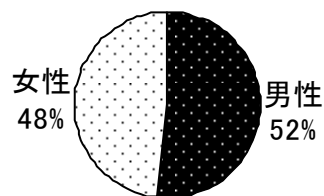
(2) 宮下地区まちづくりアンケート結果

アンケート回答集計及び解析については次のとおりである。

回収率 64.9%!

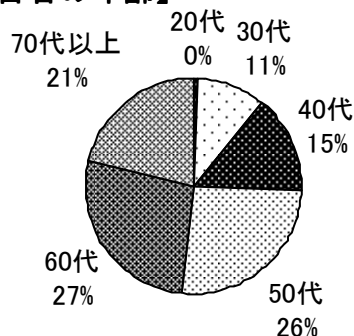
自治会に加入している世帯の1名の方（年齢、性別問わず）にお答えをいただきました。回答数は469件で回収率は64.9%でした。（宮下地区の自治会加入世帯約730世帯を対象）

【回答者の性別】



◆ 回答者の男女比は、男性52%（239人）女性48%（220人）とほぼ半々でした。

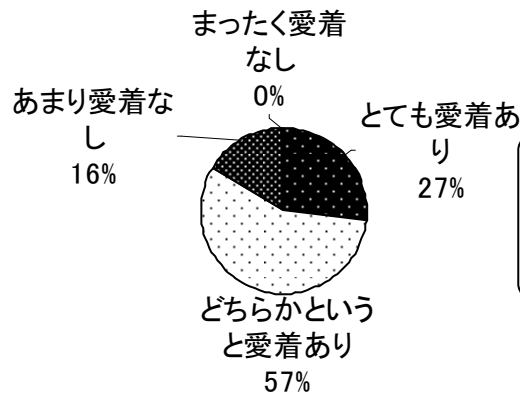
【回答者の年齢】



◆ 50歳代、60歳代が多く合わせて53%でした。50歳以上だと74%です。
また、20歳代の方は2人回答がありました。

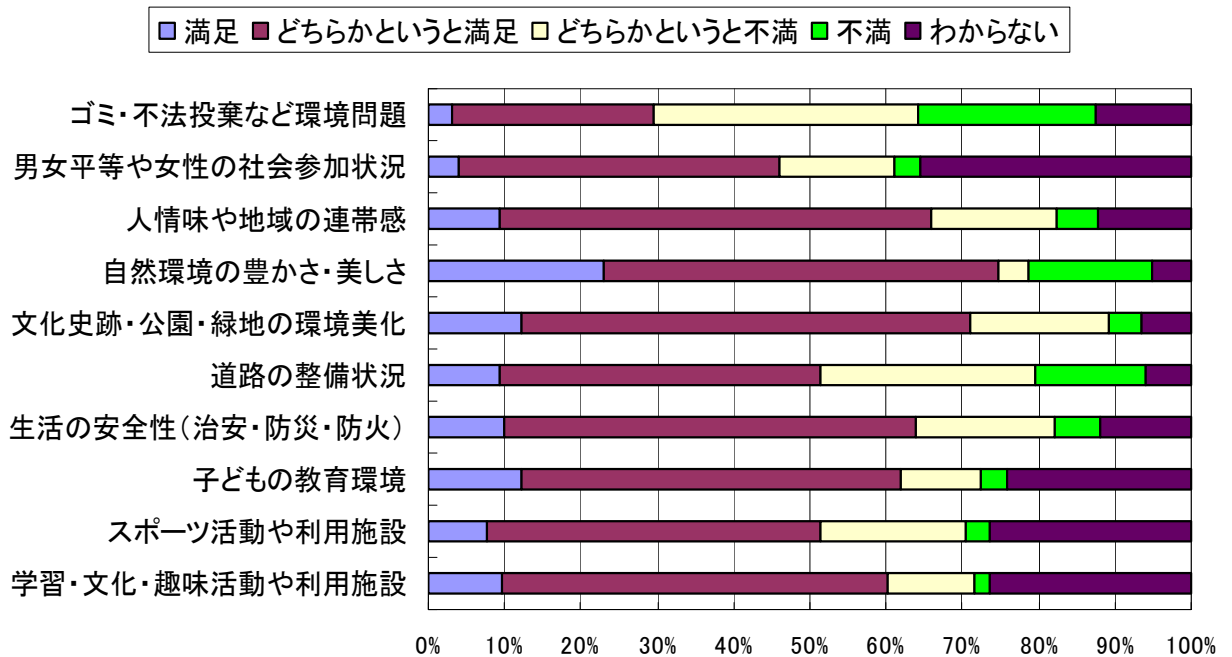
宮下地区の現状について

<宮下地区に対して愛着をどの程度感じていますか>



◆ 愛着を感じている人の割合が84%あり、宮下地区に多くの人が愛着を感じています。

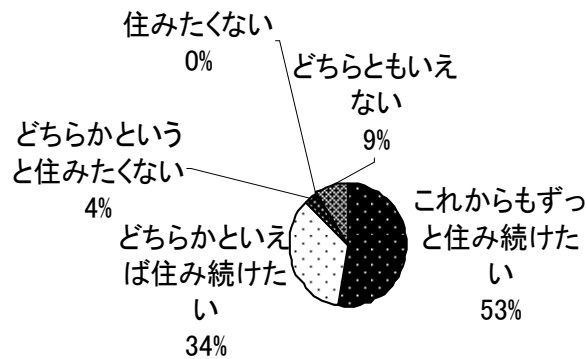
<宮下地区の現状についてどのように評価していますか>



◆ 自然環境の豊かさ・美しさについて75%の方が満足しておられます。また、文化史跡・公園・緑地の環境美化、人情味や地域の連帯感なども約70%の方が満足しておられます。一方、ゴミ・不法投棄などの環境問題や道路の整備状況については、不満を持っている方が多くおられることが分かりました。

また、男女平等や女性の社会参加状況やスポーツ・文化活動や利用施設、教育環境などについては分からないと答えた方も多くいました。

<これからも宮下地区に住み続けたいですか>

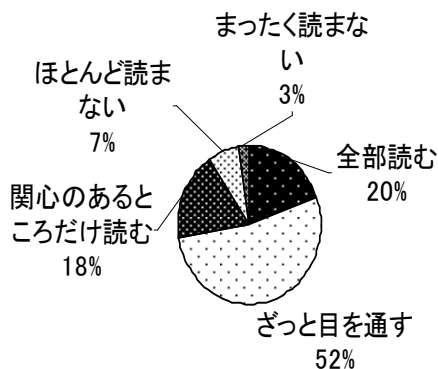


◆およそ9割の方が住み続けたいと答えておられます。



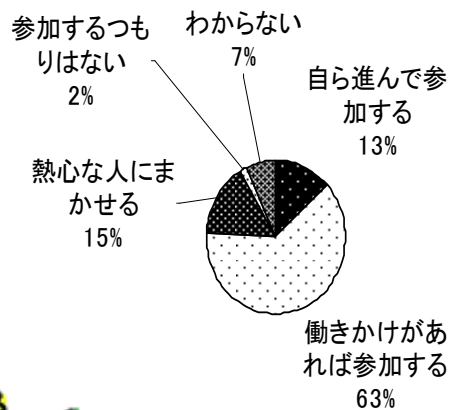
「宮下地区公民館だより・宮下地区まちづくり協議会報」や住民参加について

<公民館だよりやまちづくり協議会報をどの程度読んでいますか>



◆全部読む方が20%もあり、ざっと目を通す、関心のあるところだけ読むを合わせ、9割の方が読んでおられます。

<コミュニティ活動へ参加しますか>

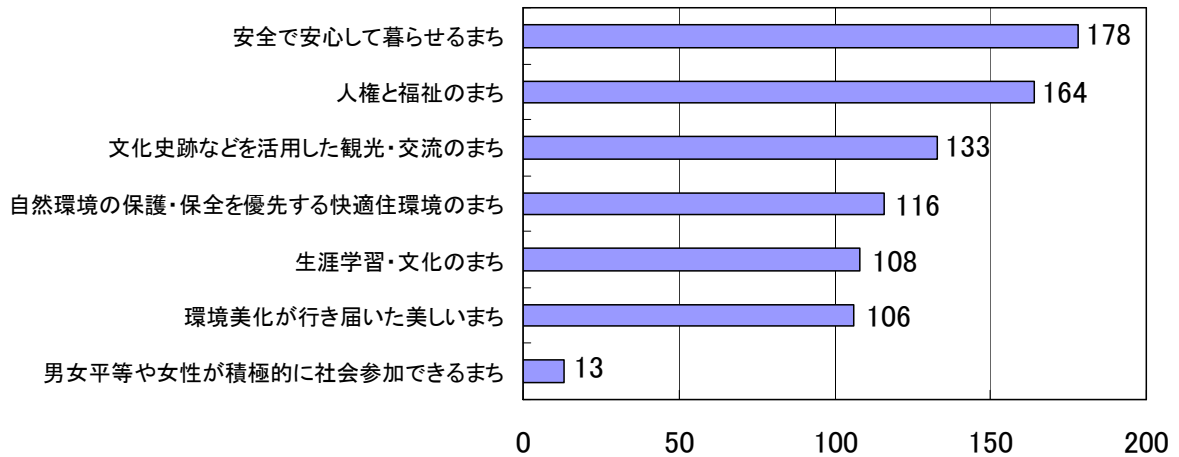


◆働きかけがあれば参加するが63%と半数以上であり、自ら進んで参加する方と合わせて約8割の方が参加しようという意識を持っておられます。



宮下地区のまちづくりの方向性について

<どのような特色のあるまちにすべきだと考えますか（2つ選択）>



◆「防災・防犯対策の行き届いた安全で安心して暮らせるまち」を選んだ方が一番多く、次いで「高齢者や子ども、障がいのある人たちを大切にする人権と福祉のまち」、「文化史跡などの地域資源を活用し、観光開発や交流事業を進める観光・交流のまち」となっています。

<「心豊かで住みよいまち」にしていくために重点的に取り組まなければならないことは>（3つ回答）

17項目のうち、回答が多かったもの（100票以上）上位6項目は、

- 1 自然環境の保全（144）
- 2 高齢者支援（129）
- 3 環境美化活動（118）
- 4 地域コミュニティの強化（114）
- 5 文化史跡の保全（107）
- 6 子育て支援（104）

◆自然環境、環境美化に関する項目、高齢者、子ども支援を含めた地域コミュニティに関する項目、文化史跡の保全に関する項目が多かったです。

<宮下地区の名物・特産品・自慢できるもの、まちづくりアイディアは>

自由記述で回答していただきましたが、非常にたくさんの意見をいただきました。主なものとして、

- 名物・特産品・自慢できるもの
国庁跡、宇倍神社などの文化史跡、傘踊り、万葉歴史館、恵まれた豊かな自然など
- まちづくりアイディア
史跡・万葉歴史館の活用、花火大会、万葉ウォークラリー、イルミネーションなど

宮下地区のまちづくりアンケートの解析

- ・ 宮下地区に対して大半の方（84%）が愛着を持っており、今後も住み続けたいと感じている。
- ・ 自然環境の豊かさや美しさ、文化史跡や公園等の環境美化にも大半の方（70%）が満足されている。
- ・ 人情味や地域の連帯感についても概ねの方（65%）が満足している。
- ・ ゴミ・不法投棄などの環境問題は大半の方（70%）が不満を感じている。
- ・ 道路の整備状況などについても半数近くの方（50%）が不満を感じている。
- ・ コミュニティ（ボランティア）活動については大半の方（80%）が参加意識を持っている。
- ・ まちづくりの方向性について（上位3項目）
 - ①防災・防犯対策の行き届いた安全で安心して暮らせるまち（178）
 - ②高齢者や子ども、障がいのある人たちを大切にする人権と福祉のまち（164）
 - ③文化史跡などの地域資源を活用した観光と交流のまちを目指す。（133）
- ・ 「心豊かで住みよいまち」にしていくために取り組み内容について（上位6項目）
 - ① 自然環境の保全（144）
 - ② 高齢者の支援（129）
 - ③ 環境美化活動（118）
 - ④ 地域コミュニティの強化（114）
 - ⑤ 文化史跡の保全（107）
 - ⑥ 子育て支援（104）
- ・ 地区の名物・特産品・自慢できるもの
国庁跡、宇倍神社などの文化史跡、因幡の傘踊り、万葉歴史館、恵まれた豊かな自然
- ・ まちづくりのアイディア
数多くある史跡や万葉歴史館の活用、花火大会、万葉ウォークラリー、イルミネーションなど。



(3) まちづくりの目標

スローガン「みんなで参加！みんなで楽しく！」

『これまでの公民館活動や地域活動の取り組みをより一層充実させ、着実に積み上げて、一人ひとりのつながりを大切にした**住みよい地域づくり**を行ない、お互いの思いやりとボランティア精神を持って、楽しく自ら進んで「まちづくり事業」に参加し、**明るく美しい地域社会を創造していく**』

《具体的な目標》

① 地域の特色・魅力を活かしたまちづくり（特色ある地域づくり部会）

鳥取市は国府地域を「文化の風かおる万葉のふるさと」として位置付けており、中でも宮下地区は国府の中心として因幡国庁跡、大伴家持歌碑、池田家墓所、宇倍神社、美歎水源地跡など有形の文化史跡がある。これらの誇れる文化財の保全・保存活動を行ない、地域を愛する気持ちを育みながら観光資源として活用し、観光交流のまちづくりを行なう。又、今まで公民館が行なってきたコミュニティ事業を充実させまちづくりの事業として位置付ける。

② 安心・安全で美しいまちづくり（生活環境部会）

自治会や関係団体と協力し防災活動、防犯活動を行い、安心して安全なまちづくりを行なう。又、恵まれた豊かな自然環境の保全・美化活動として地区周辺の一斉清掃や公園などの保全活動を行ない、ゴミのないきれいで美しいまちづくりを行なう。

③ 豊かな心を育む健康づくり（文化健康部会）

スポーツ、文化活動の更なる推進を行なう。ウォーキングで地区の史跡を巡り、見識を深め地域を再認識し、健康増進を図る。調理講習を充実し食生活の改善を図る。高齢者の居場所や見守り体制を確立し人権や福祉の充実を図る。美歎の因幡の傘踊り・手踊り、宮下地区手笠おどり、宇倍神社の神輿担ぎ、獅子舞い、奴舞いなどの伝統文化の保存・継承活動を行ない、地域を愛する心を養うまちづくりを行なう。



再生された国庁跡



桜つつみ美化活動



宮下地区手笠踊り保存会

(4) 目標を実現するための主なコミュニティ事業

○地域の特色・魅力を活かしたまちづくり（特色ある地域づくり部会）

- ・ 桜つつみ公園ライトアップ（4月）

地区で最高の花見スポットとなった桜つつみ公園で地区民が夜桜を楽しめる様、期間限定でライトアップをする。イベントも行い多くの地区民が幻想的な夜桜を楽しむ。

- ・ 宇倍神社神輿担ぎ（4月）

近年、宇倍神社の春祭りで神輿担ぎが復活した。地区の活性化に繋がる祭りであり、地区まちづくりの事業として支援していく。

- ・ 国庁跡つつじ祭りグランドゴルフ大会（5月）

因幡国庁愛護会が整備をしている国庁跡で、つつじ・さつきが満開の時期に地区のグランドゴルフ大会を行なう。多くの地区民で花とグランドゴルフを楽しむ。

- ・ 宮下地区納涼七夕まつり（8月第1週土曜日）

公民館事業で実施していた「宮下地区納涼七夕まつり」をまちづくり事業として花火等のイベントを充実させる。（21年度はフレアバーテンダー前田兄弟のボトルショー）

- ・ 因幡国庁跡お月見会（10月）

中秋の名月の頃に国庁跡でお月見会を行なう。いのしし鍋等のイベントを行い、地区民が深まる秋の一夜を楽しむ。

- ・ 宮下地区新年のつどい（1月 成人の日）

公民館が行なっていた「新年のつどい」の内容を充実して共催で行ない、地区民の結束と親睦を図る。

- ・ 史跡案内板の作成（年間）

トールカット手法で心が安らく史跡案内板を作成する。21年度は3ヶ所設置済（因幡国庁跡、大伴家持歌碑、池田家墓所）



宇倍神社神輿担ぎ



国庁跡つつじ祭りグランドゴルフ大会



お月見会（国庁跡）

○安心・安全で美しいまちづくり（生活環境部会）

・ 史跡公園美化活動（3月、6月）

史跡では大伴家持歌碑、犬塚の除草・剪定を行なう。公園では桜つつみと国府大橋の植栽地の草刈・剪定を行なう。

・ 宮下地区周辺一斉清掃（7月）

お盆を前に期間を決めて自治会及びその周辺の一斉清掃を実施する。清掃の内容については自治会に一任する。

・ 宮下地区一斉防災訓練（9月）

全地区民による一斉防災訓練を実施し、防災意識の高揚を図る。

・ 椎茸原木伐採植菌事業（12月、3月）

集落の景観を壊しているクヌギやコナラを12月頃に伐採し、3月頃に地区民に呼びかけて植菌を行なう。景観が良くなり地区民も潤う一石二鳥の事業。

・ 花いっぱい運動（年間2回）

国府大橋の花壇に春と秋の2回、花苗を植える。

・ ホタル鑑賞ができるスポットの整備事業（年間）

地区内にホタルの生息できる場所を設定し、ホタル鑑賞スポットとして整備する。

・ 宮ノ下っ子見守り活動（年間）

宮ノ下っ子見守り隊に登録しているボランティアの皆さんが下校時に自宅周辺や散歩中に子ども達の安全を見守る。地区民は通学に際して危険箇所などを注視しながら見守り活動を支援・協力する。



家持歌碑の美化活動



地区周辺一斉清掃



コスモスの種まき

○豊かな心を育む健康づくり（文化健康部会）

- ・ 史跡めぐり健康ウォーク（10月）

ウォーキングで地区の史跡を巡り、健康増進と地域の再発見をして地域を愛する心を養う。

- ・ 宮下地区ふれあいゴルフ大会（11月）

地区民の親睦交流と健康増進を兼ねたゴルフ大会を行なう。

- ・ 宮下地区文化祭グランドゴルフ大会（11月）

文化祭イベントとしてグランドゴルフ大会を行ない、文化祭の盛り上げと地区民の親睦交流を図る。

- ・ 健康料理講習会（2月）

食生活改善推進協議会・健康推進協議会等と共催して、健康料理講習を行なう。

- ・ 宮下地区敬老会（4月）

公民館が行っていた地区敬老会の内容を充実して実施する。

- ・ 高齢者向けサロンの開設（年間）

高齢者が集えて交流できる場所を地区公民館や、集落自治公民館等に開設する。

- ・ 伝統文化の継承活動（年間）

小学校、中学校の子どもたちへ地区の伝統文化である因幡の傘踊り、手笠踊り、獅子舞、奴舞などを伝承して地域を愛する心を育む。

- ・ 史跡ウォーキングマップの作成（年間）

地区公民館を基点にした史跡ウォーキングマップを作成し、観光や健康づくりに活用する。



史跡めぐり健康ウォーク



健康料理講習会「男性料理教室」

(5) 期待できる効果

地域コミュニティ計画は、まちづくりのスタートであり、計画した事業を継続することにより目標とする「**思いやりとボランティア精神を持って、楽しく自ら進んで事業に参加して明るく美しい地域社会を創造していくこと**」が出来るものと確信するものである。

具体的に次のような効果が期待できる。

- ① 文化史跡や伝統芸能に触れることにより地域を愛する心が育む。
- ② 防災・防犯活動を行なうことで、それらの意識が高まり、安心・安全で住みよいまちづくりができる。
- ③ 地区周辺や公園等の清掃行うことでボランティア意識が高まり、ゴミのない美しい自然環境を守ることができる。
- ④ コミュニティ活動を通して子どもに夢を高齢者には生きがいを広げることができる。
- ⑤ 住民相互の交流が深まり、笑顔と会話が弾む明るいまちづくりができる。

(6) 地域コミュニティ計画の評価・改善

それぞれの事業が終了した時点並びに年度末に事業に関する評価を行い、次年度の事業に反映させる。評価の方法として①**事業アンケートの実施**②**専門部会で評価**を行なう。評価結果及び反省点は「**宮下地区まちづくり協議会報**」で住民へ周知広報を行なう。



宮下地区 地域コミュニティ計画

作成日 平成22年3月1日

作成 宮下地区まちづくり協議会

事務局 鳥取市国府町宮下1012

宮下地区公民館

Tel 0857-26-5925

Fax 0857-26-5929